令 和 7 年 6 月 27 日
十和田市まちづくり支援課

一本木沢町内会
「令和６年度生ごみ回収実証事業」実績報告会

１．事業概要

〇実施期間 ： 令和6年5月 27 日から令和7年3月 31 日まで ※11 か月間
〇回 収 日 ： 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日） ※合計 42 回
〇回収方法 ： 町内にあるごみ収集場所に「生ごみ回収専用バケツ」を設置し、回収日の午前8時までに生ごみをビニール袋に入れて排出。排出用のビニール袋は色や形の指定はないが、各家庭で用意。
〇回収箇所 ： 一本木沢町内会のごみ収集場所 ※34 箇所

２．事業実績

●回 収 量 ： 合計 6,960kg（回収用の袋：500kg を除く） ※1回の平均回収量：165.7kg
●事業経費 ： 生ごみ処理費用＝73,584 円 ※7,460kg（袋を含む重さ）×9.9 円/kg（処理単価）
生ごみ回収運搬車両借上料＝693,000 円 ※16,500 円/回（借上単価）×42 回
バケツ用袋代＝47,520 円 ※15,840 円（300 枚入/箱）×３箱

合計 814,104 円

●肥料製造量 ： 348.0kg
●電気エネルギー製造量 ： 156.6kWh（一般家庭1世帯の 12 日分の電力消費量に相当）
●実証事業の結果について

今回の事業では、11 か月間で 6,960kg（約7トン）の生ごみが回収されました。

令和5年度における十和田市の家庭系可燃ごみの排出量が 10,680 トンであるため、比率にすると約 0.07 パーセントにあたります。

また、回収した生ごみは肥料や電気エネルギーを製造する資源として有効活用されており、数字的には僅かではありますが、ごみの減量や分別に対する意識啓発、資源として再利用など地球環境の保全に繋がっています。

●市全体で生ごみの回収を行った場合の減量効果の試算

一本木沢町内会には約 400 世帯が加入しています。令和7年3月 31 日時点の十和田市の総世帯数は 28,114 世帯で、一本木沢町内会は全体の約 1.4 パーセントを占めています。

世帯構成員の差などを考慮せずに世帯数のみを基準に市全体で生ごみの回収を行った場合の減量効果を試算すると、可燃ごみのうち約 489 トン（約 4.6%）が減量されることになります。

計算式：28,114 世帯/400 世帯×6,960kg≒489 トン

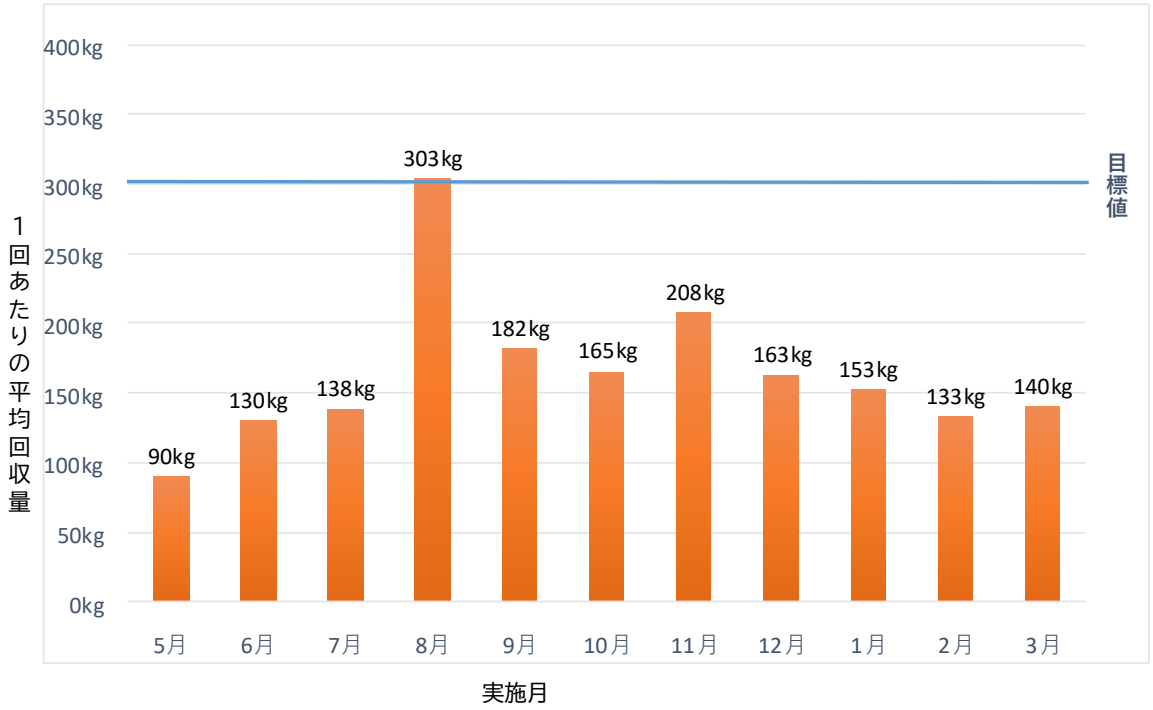
●月別の回収量

【回収実績】

令和5年度	実施月	実施回数	回収量	1回あたりの平均回収量
	9月	4回	960kg	240kg

※【1回あたりの目標回収量：300kg】

	実施月	実施回数	回収量	回収した袋の重量	生ごみ重量	1回あたりの平均回収量
令和6年度	5月	1回	90kg	0kg	**90kg**	90kg
	6月	4回	560kg	40kg	**520kg**	130kg
	7月	5回	760kg	70kg	**690kg**	138kg
	8月	3回	1,000kg	90kg	**910kg**	303kg
	9月	5回	990kg	80kg	**910kg**	182kg
	10月	4回	710kg	50kg	**660kg**	165kg
	11月	4回	850kg	20kg	**830kg**	208kg
	12月	4回	680kg	30kg	**650kg**	163kg
	1月	4回	660kg	50kg	**610kg**	153kg
	2月	4回	570kg	40kg	**530kg**	133kg
	3月	4回	590kg	30kg	**560kg**	140kg
合計		42回	7,460kg	500kg	**6,960kg**	165.7kg



3．生ごみ回収実証事業に係るアンケート調査集計結果

〇回答者数：137 名

①今回の実証事業への参加状況

ア）参加	86 名
イ）不参加	51 名
合　計	137 名

※「イ）不参加」の理由

・生ごみだけを分別するのが面倒、家事が増える。（× 4）

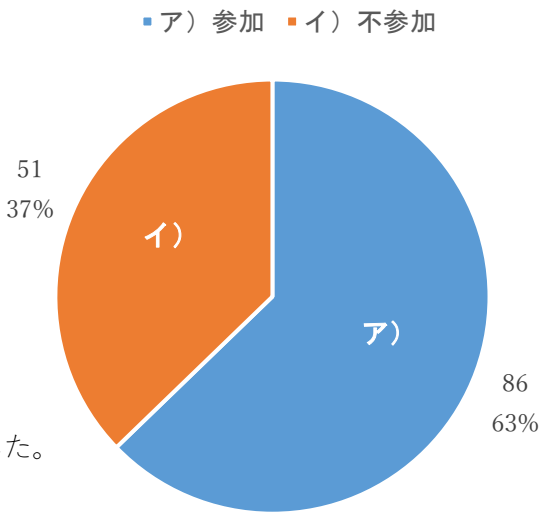
・コンポストを使用している。（× 3）

・生ごみがそれほど出ない。（× 2）

・時間的な余裕がなかったが、いずれは参加したい。

・家族間で周知されておらず、他のごみが混ざってしまい断念した。

など

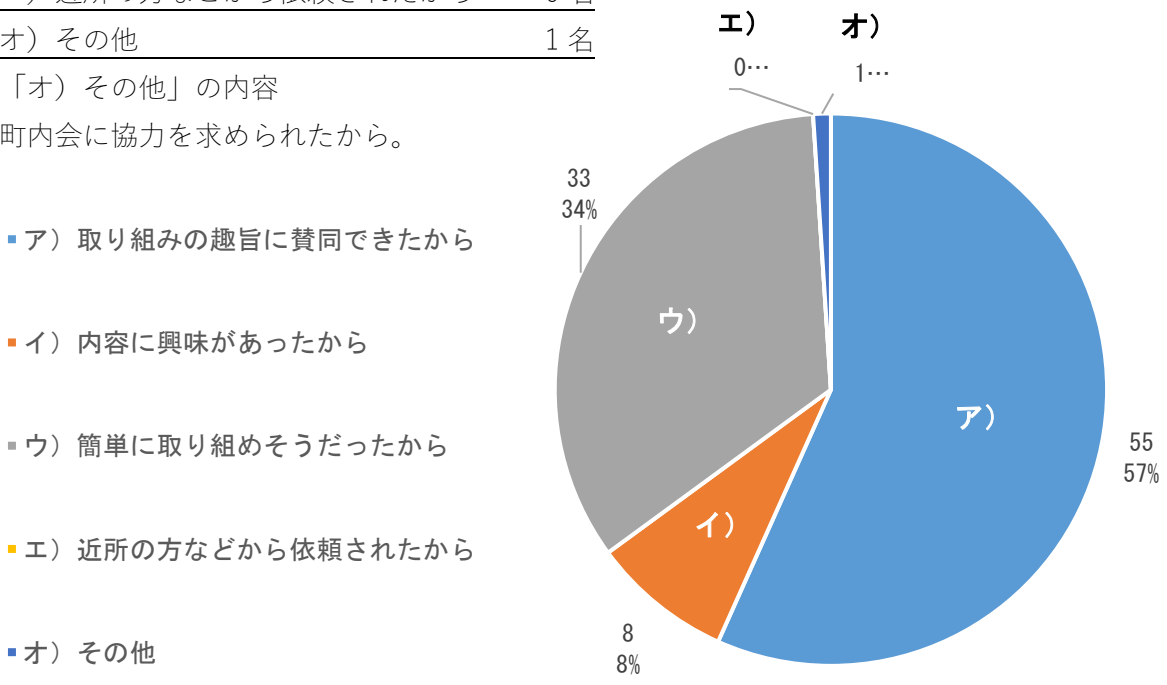


② ①でア）参加を選んだ方の参加するきっかけ

ア）取り組みの趣旨に賛同できたから	55 名
イ）内容に興味があったから	8 名
ウ）簡単に取り組めそうだったから	33 名
エ）近所の方などから依頼されたから	0 名
オ）その他	1 名

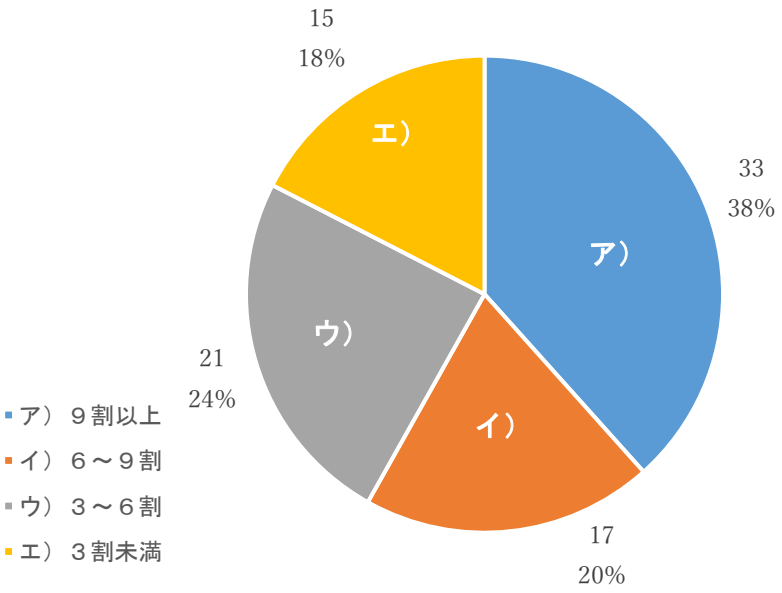
※「オ）その他」の内容

・町内会に協力を求められたから。



③事業への参加頻度

ア）９割以上	33 名
イ）６～９割	17 名
ウ）３～６割	21 名
エ）３割未満	15 名
回答数	86 件

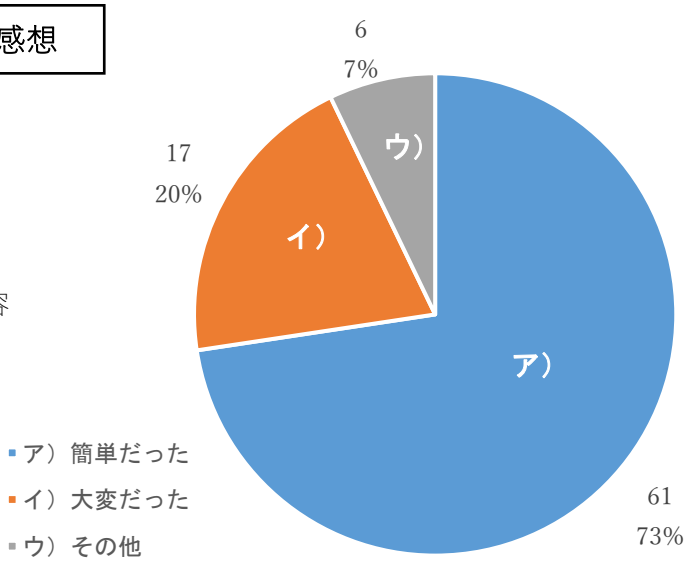


④年間を通して生ごみの回収を行った感想

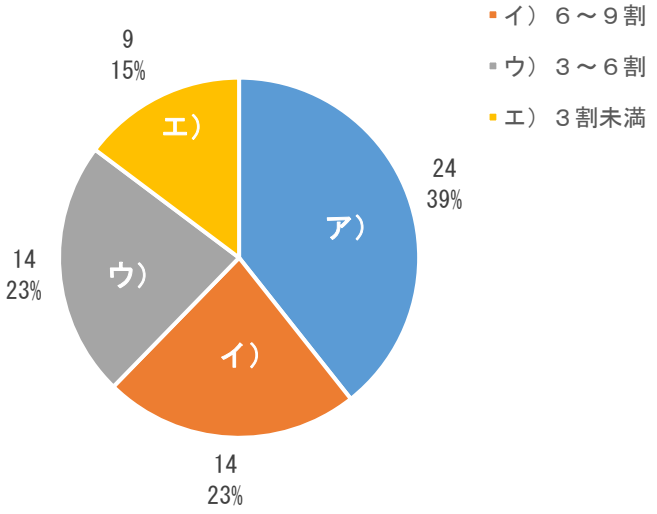
ア）簡単だった	61 名
イ）大変だった	17 名
ウ）その他	6 名
回答数	84 件

※「イ）大変だった」、「ウ）その他」の内容

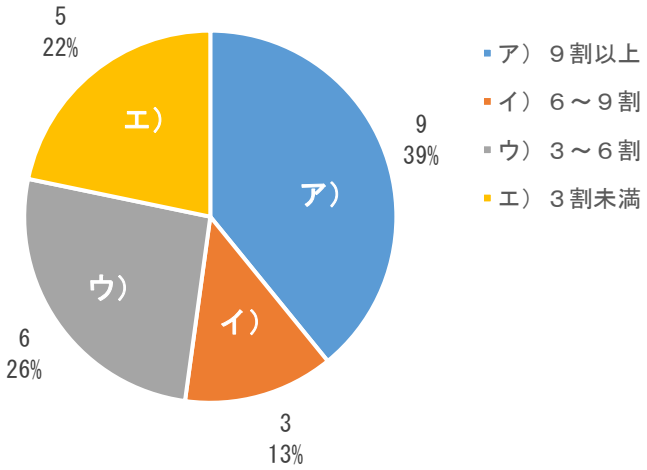
・暑い時期が大変。
・夏の生ごみのにおいが気になった。
・たまに入れたが、中を見たくなかった。
・分別が分かりづらい。
・できるときだけやった。



ア）簡単と回答した人の事業への参加頻度

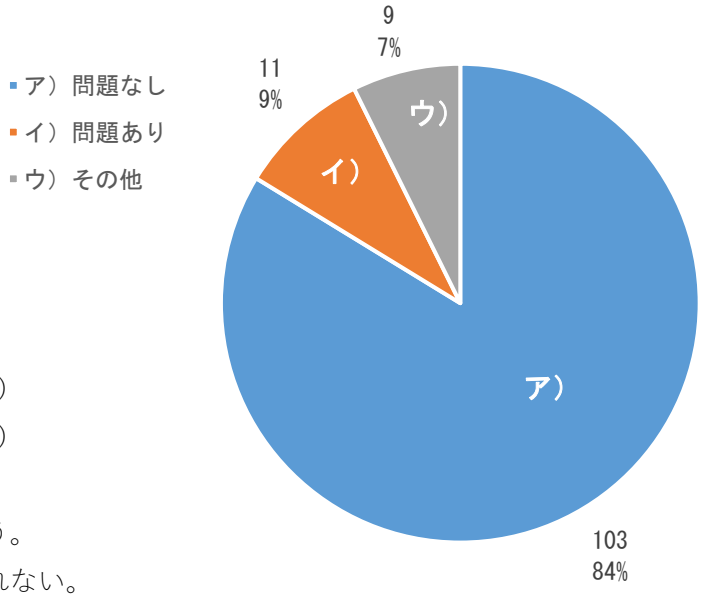


イ）大変、ウ）その他と回答した人の事業への参加頻度



⑤現在の回収方法について

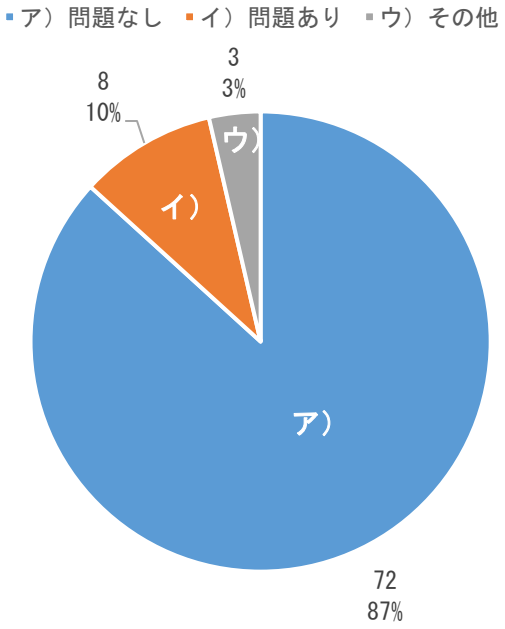
ア）問題なし	103 名
イ）問題あり	11 名
ウ）その他	9 名
回答数	123 件



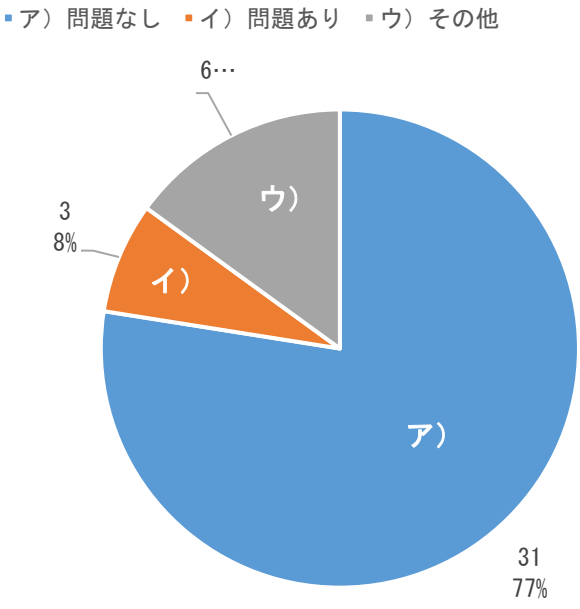
※「問題あり」「その他」の内容

・バケツが強風で飛ばされた。（× 3）
・ふたを開けた時の悪臭。汁こぼれ。（× 3）
・固定用バンドが切れた。はずれた。（× 2）
・夏場にハエが湧く。
・鍵がないため回収日以外でも出せてしまう。
・雪が積もったときにバケツの蓋を開けられない。
・バケツのビニール袋がきちんとセットされていない時がある。
・袋代等の経費がかかる。
・毎回袋を二重にして出している人がいた。

事業に参加した人の回答



事業に参加していない人の回答



⑥回収頻度（週１回）と曜日について

ア）このままで良い	68 名
イ）多い	0 名
ウ）少ない	34 名
エ）その他	14 名
回答数	116 件

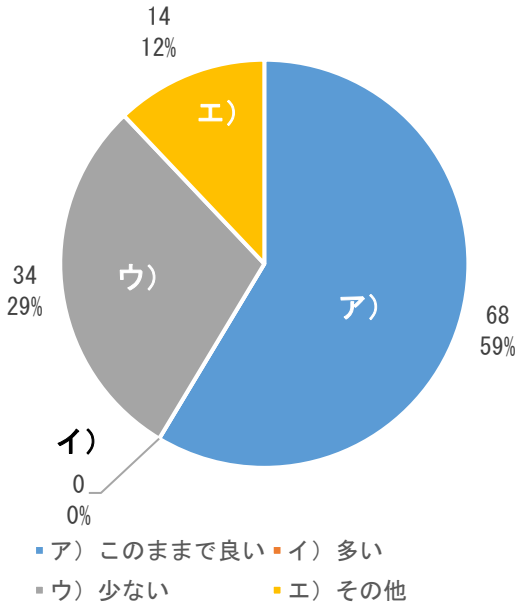
※「少ない」「その他」の内容

・週２回が良い（×34）

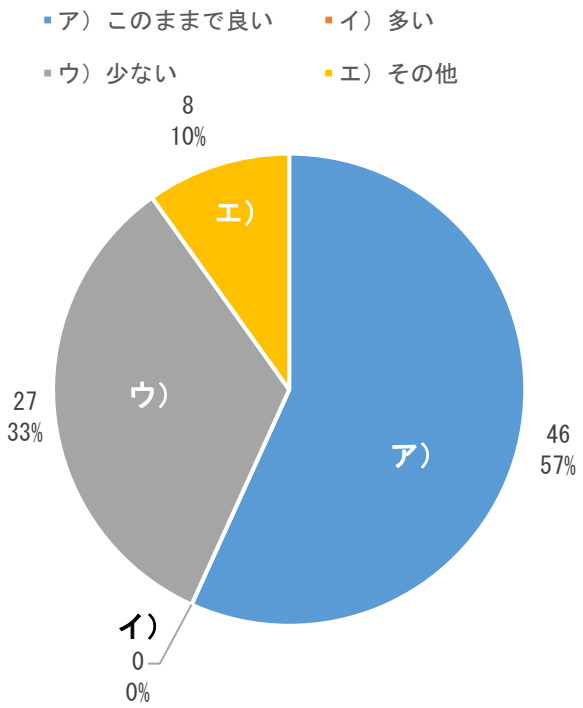
・夏場は増やした方が良い（×７）

・夏は１週間保管するのが大変。

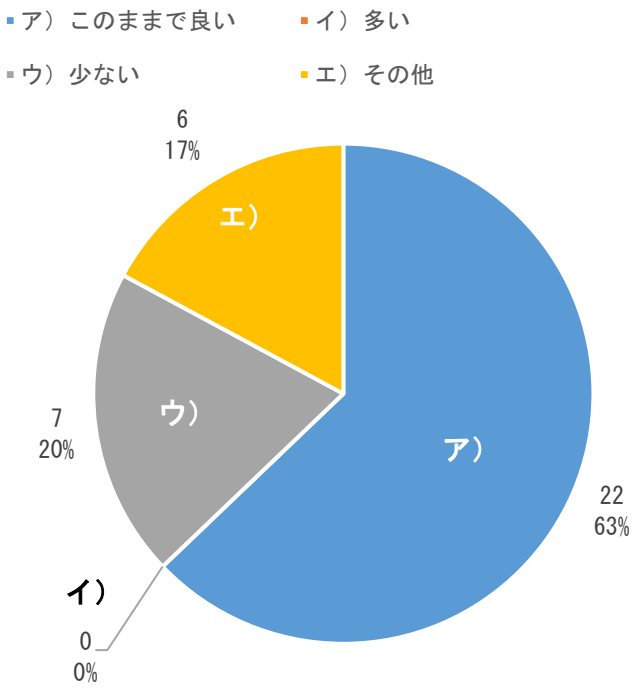
・週初めは忙しいので金曜日はどうか。



事業に参加した人の回答

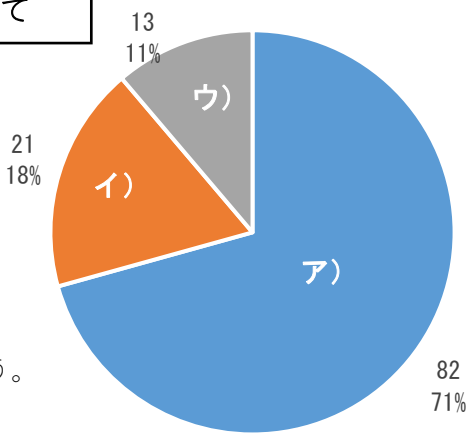


事業に参加していない人の回答



⑦生ごみをいつでも入れられるようにすることについて

ア）賛成	82 名
イ）反対	21 名
ウ）その他	13 名
回答数	116 件

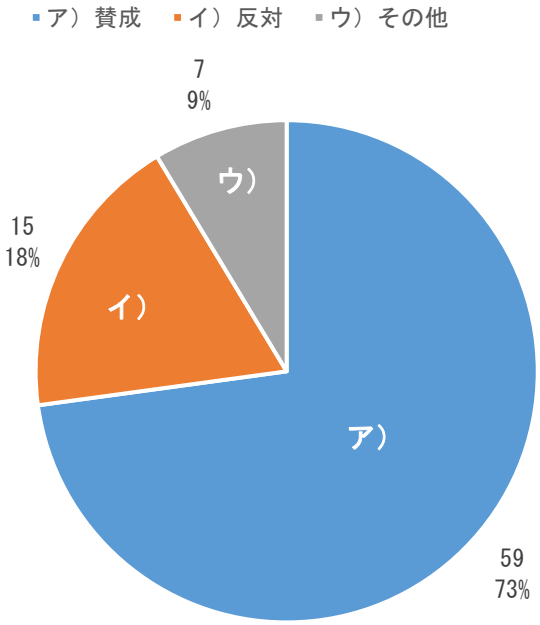


※「反対」「その他」の内容

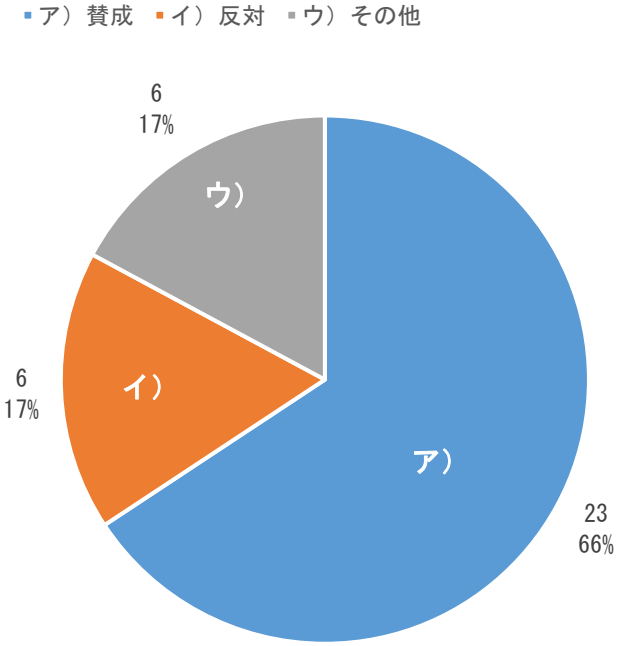
・衛生面、マナー、においが気になる（×20）

・夏場のにおい対策があればいつでも OK にしてよいかと思う。

事業に参加した人の回答



事業に参加していない人の回答



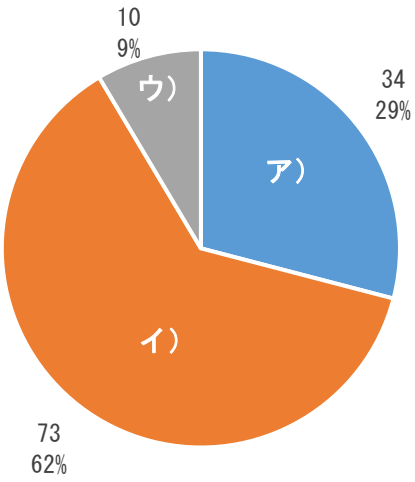
⑧においについて

ア）気になった	34 名
イ）気にならなかった	73 名
ウ）その他	10 名
回答数	117 件

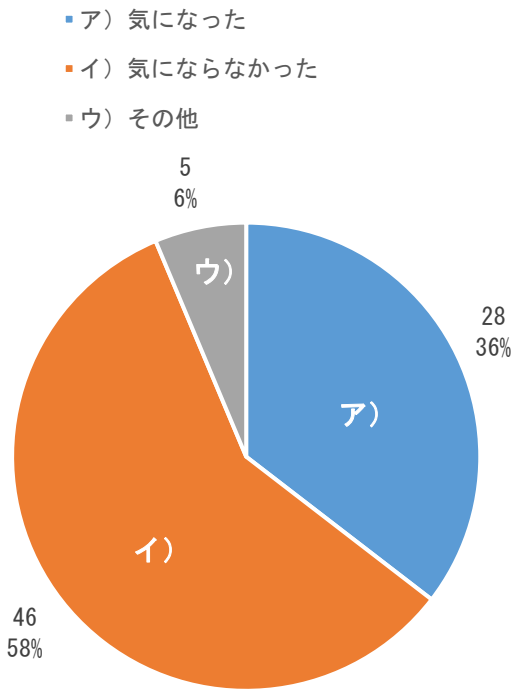
※「その他」の内容

・夏や暑い日は気になった。

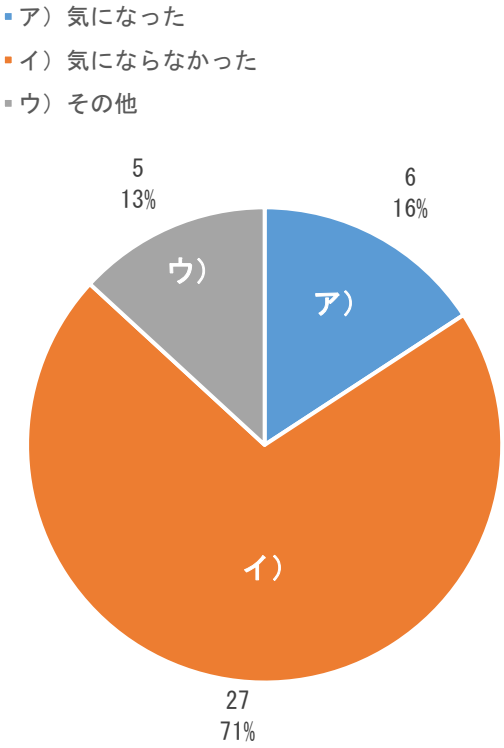
・バケツに入れる際のにおいは気になったが、
家庭では冷凍保管しており全く気にならない。



事業に参加した人の回答



事業に参加していない人の回答



４．感想・意見など

○事業継続について

・生ごみを分別収集することに賛成。良い取り組みだと思う。（× 8）
・続けてほしい。（× 7）
・他の地域にも広がってほしい。将来的に市全体でやってほしい。（× 3）
・できることは協力したい。
・このまま継続すると参加者も増えていくと思う。

○生ごみ回収の頻度について

・週２回回収してほしい（× 4）
・寒い時期は週１回でもいいが夏季は週２回回収してほしい。（× 2）
・１週間分の生ごみを置いておくのはにおいなどが気になる。
・回収は月曜日と木曜日の２回を希望。

○生ごみ回収事業でよかった点

・燃えるごみが少なくなった。（×10）
・週２回の燃えるごみが週１回になった。
・生ごみ回収を行うことになってから、燃えるごみの量が３分の１になった。
・燃えるごみ袋が大から小になった。
・生ごみを出すことで、その他のごみを捨てるときに軽くなってとても良い。
・燃えるごみが少なくても袋を使うのがもったいないと思っていたが、生ごみを別に処理してもらうと他のごみを出す回数は減るし、これからも続けてほしい。

○生ごみ回収による波及効果について

・再生可能エネルギーの一役に貢献できたことに喜びを感じ、ごみの分別意識の向上につながった。
・改めてごみの量が多いことに気づいた。
・少しでもごみを減らしたい。自分自身もロスが多く見直している。
・どれが生ごみに出せるか、意識するようになった。
・台所に生ごみ袋を用意し、孫たちにもこれは食べる、これは資源と教えている。月曜の朝は燃えるごみと生ごみを持ち散歩へ、孫と左右に分かれ学校へいってらっしゃいをしている。

○生ごみ回収事業で気になった点

・１週間保管したため、別の容器を準備する必要があった。
・においが気になる。何かいい工夫はないか。
・二重の袋に入れて出されていたり、２～３日前に出ていたり、蓋を取ると冬場でもにおいがした。
・蓋を開けた時のにおいは気になったが、蓋を閉めれば問題ないのでいいと思う。

○家での分別や保管の工夫

・捨てるときに水気をよく切る。（×２）
・外の物置にバケツを置き、回収日までそこに置いていた。水をよく切るとにおいもそれほど気にならない。
・水分の多い残飯類は１週間ためるとにおいが出るため、燃えるごみに出すようにしている。家庭では小さめの蓋付きポリバケツに入れて毎週月曜日に出している。
・生ごみ１週間分は家の外のプレハブ小屋に蓋のついたバケツ２個を置き、それに入れている（家の中に置くのはにおいがあり１週間は難しい）。
・台所で蓋付き容器に生ごみを入れているが、袋の底にコーヒーかすを入れ、内蓋に新聞紙を使用しているのでにおいはあまり気にならない。
・生ごみ用の蓋付きの入れ物を準備しておくとにおいを防ぐことができる。
・風除室等に蓋付きバケツを用意し、それに入れて保管し、当日の朝出していた。
・家の中で保管することでにおいが気になったが、使い古したジップロックの袋に入れてからはにおいが気にならなくなった。
・夏はできるだけ冷蔵庫で保管することを心掛けた。
・我が家では生ごみ・汚物（おむつ・ペットのフン等）をまとめてアイスストッカーに保管し、燃えるごみの日に捨てているため、生ごみのみを分別して保管するのが難しい。毎日回収するか、回収は週２～３回でも毎日入れられるようにしてくれれば生ごみを保管する必要がなくなるため参加できると思う。

○意見

・多量に生ごみが出る給食センター・スーパー・コンビニ等を対象に行っては？
・可燃ごみが少なくなるのは良いことだが、今後焼却炉を新しくする計画があるなら発電するような施設にし、電力量を減らし、経費削減を考えてはどうか。
・なぜ一本木沢だけなのか。

○要望

・アンケートは QR コードでも回答できるようにしてほしい。
・家の前が設置場所になっている人のことも考えてほしい。バケツのロックがされておらず、蓋が飛んでいた。今一度利用者には確認していただきたい。
・生ごみ分別の細かい案内が欲しい。例えば貝類や卵の殻など。
・ごみはいつでも出せるようにして、悪臭をできるだけ抑える工夫が必要と思う。
・夏に向けてにおい対策は考えているか。ふたを開けるのがこわい。
・生ごみはにおいと保存が大変なので、個袋に入れたものを大袋にまとめて出したい。
・今はスーパーの袋も有料なので、生ごみを入れる袋を提供してほしい。
・バケツの蓋に消臭剤を張り付けるなどのにおい対策を考えてほしい。

○その他

・自分の町内では生ごみ回収に出す人が少ないのが残念。（× 2）
・においが出ないようにするために他の方がどのような努力をしているか知りたい。
・野菜をいただくので外葉やしっぽがたくさん出るが、分けるのは苦ではない。
・ごみ焼却に予算を使うのではなく、資源活用していくことへ使ってほしい。
・バケツに入れに行くのが面倒で燃えるごみとして出したこともある。
・家庭では時間がなく特に子育て世代は大変だと思う。
・今後クマやイノシシが出てきた場合は考える必要があると思う。
・生ごみコンポストと併用しており、生ごみの半分くらいを出している。コンポストに入れた方がいいか迷う。
・少し大変。